

皆さん、こんにちは。私の名前はノリ・エンドウです。

皆さんはチョコレートが好きですか？ほとんどの人が好きだろうと思います(周りを見る)。私は好きです。皆さんがご存じのように、チョコレートの主原料はカカオです。今日は、『真実のチョコレート』という本をご紹介しますと思います。英語タイトルは”Bitter Chocolate –Investigating the Dark Side of the World’s Most Seductive Sweet. (苦いチョコレートー世界で最も魅惑的なスイーツのダークサイドを探るー)です。この本を読めば、カカオがどこから来るのかわかるでしょう。加えて、それがどのように栽培・収穫されるかに気づき、カカオ市場の暗い秘密を知ることになるのです。

この本には、カカオ生産とチョコレート産業の暗い側面が書かれています。この本を読んで、私には2つの疑問が浮かびました。ひとつは、カカオ産業における児童労働です。多くの貧しい子供たちがカカオ農場での労働を強要されていますが、これは児童労働を禁じる国連条例を無視しています。多くのカカオ生産者が、条例を守っていないのです。なぜ彼らは国連に従わないのか？誰が、そんなことを許しているのか？

また、私はこの本を読んで、カカオ市場は、ヨーロッパやアメリカに本社を置く多国籍大企業に支配されていることを知りました。これらの企業体は、カカオにより非常に大きな利益を得ています。地方のカカオ生産者は、自分たちの生活を改善したり変えたりすることはまったくできないことがわかりました。生きていくための最低限の稼ぎも得られない彼らは、自分の子供を学校に行かせることができません。彼らは、貧困のサイクルから抜け出せないのです。

このようなことから、私は皆さんにこの本『Bitter Chocolate (苦いチョコレート)』をお勧めします。

この本はカカオがどこで生産され、どのように育てられ、収穫されているかを述べ、さらにカカオ市場の闇の部分明らかにしています。私はこれを読んで、資本主義について改めて考えさせられました。この本は、資本主義が本当は富裕層による貧困層の搾取であることを、私に教えてくれたのです。

ご清聴ありがとうございました。